

令和5年度行政事業レビューシート					(環境省)		
事業名	循環型社会形成推進事業等経費			担当部局庁	環境再生・資源循環局	作成責任者	
事業開始年度	平成13年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	総務課循環型社会推進室	循環型社会推進室長 水谷 努	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	循環型社会形成推進基本法 第十四条、第十五条、第十七条、第十八条、 第二十八条、第二十九条			関係する 計画、通知等	「第四次循環型社会形成推進基本計画」(平成30年6月19日閣議決定)		
政策	-			主要経費	その他の事項経費		
施策	4. 資源循環政策の推進						
政策体系・評価書URL	https://www.env.go.jp/guide/seisaku/index.html						
事業の目的 (5行程度以内)	循環型社会形成推進法(平成12年法律第110号。以下「循環基本法」という。)第14条に基づき、毎年、循環資源の発生、循環的な利用及び処分の状況並びに政府が循環型社会の形成に関して講じた施策に関する報告(循環型社会白書)を作成し、国会報告を行うほか、第15条に基づく「循環型社会形成推進基本計画」(以下「循環基本計画」という)の作成に必要な各種情報の収集・分析等を行う。 また、「第四次循環基本計画」(平成30年6月閣議決定)の進捗状況を適切に把握し、かつ、同計画全般に係る施策を実施することで、循環型社会の形成を推進する。						
現状・課題 (5行程度以内)	中央環境審議会において、有識者との議論を踏まえ設定している各指標については、概ね順調に推移しているものの一部未達成の項目もある(実績は活動内容の数値参照)ため、引き続きフォローアップを行うことにより数値目標の達成に向け、適切な取組を検討し、実施する必要がある。 また、令和6年度には現行の第四次循環基本計画を見直した上で第五次循環基本計画を策定する予定である。この新たな計画に基づき、地方公共団体、民間企業等との連携により一般消費者等に対して広く3Rへの態度変容・行動喚起を促進する取組を実施することとしている。						
事業概要 (5行程度以内)	○循環基本計画で定められた定量的な目標(資源生産性、入口・出口における循環利用率、最終処分量)の達成状況を検証する。 ○家庭からの使用済み製品や衣類等の排出削減に向け、リユース拡大の手法に関するモデル事業を自治体等と連携し実施する。 ○廃棄物・資源循環分野における脱炭素技術の評価検証や、廃棄物処理システム及び施設整備の方針等の検討を進めることで、2050年カーボンニュートラル実現に向けた実行計画を検討する。						
事業概要URL	https://www.env.go.jp/recycle/circul/keikaku.html						
実施方法	委託・請負						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	153	148	264	268	-
		補正予算(B)	-	-	-	-	
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	153	148	264	268	-	
	執行額(G)		117	164.7	246		
執行率(%) =(G)/(F)		76%	111%	93%			
当初予算+補正予算に対する執行額の 割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		76%	111%	93%			
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	資源循環政策推進費					
	(目)	環境保全調査費	267				
	(目)	職員旅費	0.3				
		その他	0	-			
	計(A)		268	-			

活動内容① (アクティビティ)		循環基本法に基づき、おおむね5年に一度、循環基本計画を見直し、策定するとともに、2年に1回、循環基本計画の進捗状況について点検を行う。 また、循環資源の発生状況等を踏まえ、従来からの経年的データに加え、毎年度設定するテーマに対応した新たなデータを収集・分析すること等を通じて指標のフォローアップを行う。併せて、法第14条に基づく循環型社会白書を作成し、国会へ提出するほか、英語版の作成等を含め、国内外への情報発信を実施する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		循環資源の発生状況等を踏まえ、循環基本計画における代表指標をフォローアップする	循環基本計画においてフォローアップする代表指標(循環利用率、最終処分量等)の分析等のために検証する補助指標の数	活動実績	項目	117	117	117	117	117
				当初見込み	項目	117	117	117	117	117
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	本予算は、循環基本計画を策定し、新たなデータを収集・分析すること等を通じて各指標のフォローアップを行うための予算であり、計画に定めるそれぞれの施策を直接推進するための予算ではないものの、4つの代表指標の向上を目指すためには、117の補助指標それぞれが向上していく必要があることから、この一例として、循環基本計画にある「循環分野における人材育成、普及啓発等」の項目別取組指標として定めている「廃棄物の減量化や循環利用、グリーン購入の意識」を90%に引き上げることを短期のアウトカムとして示す。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度	
		廃棄物の減量化や循環利用、グリーン購入の意識を90%に引き上げる	アンケート調査により把握されたグリーン購入に対する意識がある者の割合	成果実績	%	72.8	74.7	70.4	-	
				目標値	%	-	-	-	90	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		第四次循環型社会形成推進基本計画(平成30年6月閣議決定)に定められた目標								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	国民の意識・関心が高まることで、3R行動が促進され、環境配慮設計が施された商品や環境負荷の低い商品が積極的に購入されることで関連する事業者が増え、引いては循環経済関連市場が拡大するため。								
成果目標及び成果実績 ①-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 12 年度	
		2030年までに、サーキュラーエコノミー関連ビジネスの市場規模を80兆円以上にする	サーキュラーエコノミー関連ビジネスの市場規模	成果実績	兆円	-	53	52.6	-	
				目標値	兆円	-	-	-	80	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		第四次循環型社会形成推進基本計画(平成30年6月閣議決定)に定められた目標								
↓	成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカムへのつながり)	社会全体として資源の再利用・再生使用を促進することにより、資源の循環を促し、循環型社会の実現を目指すため。 循環型社会を形成するためには、どの程度の資源を採取、消費、廃棄しているのかその全体像を把握し、その向上を図っていくことが必要であり、循環型社会の全体像を把握し、その向上を図るための指標と数値目標を設定するとともに、各主体の取組の進展度合いを的確に計測・評価し、更なる取組を促すための指標と、可能な範囲で数値目標を設定する。設定した指標のフォローアップを行い目標の達成状況を把握し、目標・指標を実際に実現するための検討に用いる。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 7 年度	
		循環基本計画に定められている物質フロー指標を令和7年度までに目標値まで引き上げる。	入口側の循環利用率(循環利用率/総物質投入量) (※成果実績値:「[年度]→2年前の実績値」、例:「令和4年度→令和2年度実績値」)	成果実績	%	15.4	15.7	15.9	-	
				目標値	%	-	-	-	18	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		第四次循環型社会形成推進基本計画(平成30年6月閣議決定)に定められた目標								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		-								

活動内容② (アクティビティ)		循環基本法に基づき、おおむね5年に一度、循環基本計画を見直し、策定するとともに、2年に1回、循環基本計画の進捗状況について点検を行う。 また、循環資源の発生状況等を踏まえ、従来からの経年的データに加え、毎年度設定するテーマに対応した新たなデータを収集・分析すること等を通じて指標のフォローアップを行う。併せて、法第14条に基づく循環型社会白書を作成し、国会へ提出するほか、英語版の作成等を含め、国内外への情報発信を実施する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		循環資源の発生状況等を踏まえ、循環基本計画における代表指標をフォローアップする	循環基本計画においてフォローアップする代表指標（循環利用率、最終処分量等）の分析等のために検証する補助指標の数	活動実績	項目	117	117	117	117	117
				当初見込み	項目	117	117	117	117	117
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	本予算は、循環基本計画を策定し、新たなデータを収集・分析すること等を通じて各指標のフォローアップを行うための予算であり、計画に定めるそれぞれの施策を直接推進するための予算ではないものの、4つの代表指標の向上を目指すためには、117の補助指標それぞれが向上していく必要があることから、この一例として、循環基本計画にある「循環分野における人材育成、普及啓発等」の項目別取組指標として定めている「廃棄物の減量化や循環利用、グリーン購入の意識」を90%に引き上げることを短期のアウトカムとして示す。								
成果目標及び成果実績 ②-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度	
		廃棄物の減量化や循環利用、グリーン購入の意識を90%に引き上げる	アンケート調査により把握されたグリーン購入に対する意識がある者の割合	成果実績	%	72.8	74.7	70.4	－	
				目標値	%	－	－	－	90	
				達成度	%	－	－	－	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		第四次循環型社会形成推進基本計画(平成30年6月閣議決定)に定められた目標								
↓	成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	国民の意識・関心が高まることで、3R行動が促進され、環境配慮設計が施された商品や環境負荷の低い商品が積極的に購入されることで関連する事業者が増え、引いては循環経済関連市場が拡大するため。								
成果目標及び成果実績 ②-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 12 年度	
		2030年までに、サーキュラーエコノミー関連ビジネスの市場規模を80兆円以上にする	サーキュラーエコノミー関連ビジネスの市場規模	成果実績	兆円	－	53	52.6	－	
				目標値	兆円	－	－	－	80	
				達成度	%	－	－	－	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		第四次循環型社会形成推進基本計画(平成30年6月閣議決定)に定められた目標								
↓	成果目標②-3の 設定理由 (長期アウトカムへのつながり)	社会全体として資源の再利用・再生使用を促進することにより、資源の循環を促し、循環型社会の実現を目指すため。 循環型社会を形成するためには、どの程度の資源を採取、消費、廃棄しているのかその全体像を把握し、その向上を図っていくことが必要であり、循環型社会の全体像を把握し、その向上を図るための指標と数値目標を設定するとともに、各主体の取組の進展度合いを的確に計測・評価し、更なる取組を促すための指標と、可能な範囲で数値目標を設定する。設定した指標のフォローアップを行い目標の達成状況を把握し、目標・指標を実際に実現するための検討に用いる。								
成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 7 年度	
		循環基本計画に定められている物質フロー指標を令和7年度までに目標値まで引き上げる。	出口側の循環利用率(廃棄物の循環利用量/廃棄物等発生量) (※成果実績値:「年度」→2年前の実績値)、例:「令和2年度→平成30年度実績値」)	成果実績	%	43.6	43	41.6	－	
				目標値	%	－	－	－	47	
				達成度	%	－	－	－	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		第四次循環型社会形成推進基本計画(平成30年6月閣議決定)に定められた目標								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								

活動内容③ (アクティビティ)		循環基本法に基づき、おおむね5年に一度、循環基本計画を見直し、策定するとともに、2年に1回、循環基本計画の進捗状況について点検を行う。 また、循環資源の発生状況等を踏まえ、従来からの経年のデータに加え、毎年度設定するテーマに対応した新たなデータを収集・分析すること等を通じて指標のフォローアップを行う。併せて、法第14条に基づく循環型社会白書を作成し、国会へ提出するほか、英語版の作成等を含め、国内外への情報発信を実施する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ③ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		循環資源の発生状況等を踏まえ、循環基本計画における代表指標をフォローアップする	循環基本計画においてフォローアップする代表指標(循環利用率、最終処分量等)の分析等のために検証する補助指標の数	活動実績	項目	117	117	117	117	117
				当初見込み	項目	117	117	117	117	117
↓	成果目標③-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	本予算は、循環基本計画を策定し、新たなデータを収集・分析すること等を通じて各指標のフォローアップを行うための予算であり、計画に定めるそれぞれの施策を直接推進するための予算ではないものの、4つの代表指標の向上を目指すためには、117の補助指標それぞれが向上していく必要があることから、この一例として、循環基本計画にある「循環分野における人材育成、普及啓発等」の項目別取組指標として定めている「廃棄物の減量化や循環利用、グリーン購入の意識」を90%に引き上げることを短期のアウトカムとして示す。								
成果目標及び成果実績 ③-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度	
		廃棄物の減量化や循環利用、グリーン購入の意識を90%に引き上げる	アンケート調査により把握されたグリーン購入に対する意識がある者の割合	成果実績	%	72.8	74.7	70.4	-	
				目標値	%	-	-	-	90	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		第四次循環型社会形成推進基本計画(平成30年6月閣議決定)に定められた目標								
↓	成果目標③-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	国民の意識・関心が高まることで、3R行動が促進され、環境配慮設計が施された商品や環境負荷の低い商品が積極的に購入されることで関連する事業者が増え、引いては循環経済関連市場が拡大するため。								
成果目標及び成果実績 ③-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 12 年度	
		2030年までに、サーキュラーエコノミー関連ビジネスの市場規模を80兆円以上にする	サーキュラーエコノミー関連ビジネスの市場規模	成果実績	兆円	-	53	52.6	-	
				目標値	兆円	-	-	-	80	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		第四次循環型社会形成推進基本計画(平成30年6月閣議決定)に定められた目標								
↓	成果目標③-3の 設定理由 (長期アウトカムへのつながり)	社会全体として資源の再利用・再生使用を促進することにより、資源の循環を促し、循環型社会の実現を目指すため。 循環型社会を形成するためには、どの程度の資源を採取、消費、廃棄しているのかその全体像を把握し、その向上を図っていくことが必要であり、循環型社会の全体像を把握し、その向上を図るための指標と数値目標を設定するとともに、各主体の取組の進展度合いを的確に計測・評価し、更なる取組を促すための指標と、可能な範囲で数値目標を設定する。設定した指標のフォローアップを行い目標の達成状況を把握し、目標・指標を実際に実現するための検討に用いる。								
成果目標及び成果実績 ③-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 7 年度	
		循環基本計画に定められている物質フロー指標を令和7年度までに目標値まで引き上げる。	資源生産性(GDP/天然資源等投入量) (※成果実績値:「[年度]→2年前の実績値」、例:「令和4年度→令和2年度実績値」)	成果実績	万円/トン	42.5	43.9	46	-	
				目標値	万円/トン	-	-	-	49	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		第四次循環型社会形成推進基本計画(平成30年6月閣議決定)に定められた目標								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由								
		-								

活動内容④ (アクティビティ)		循環基本法に基づき、おおむね5年に一度、循環基本計画を見直し、策定するとともに、2年に1回、循環基本計画の進捗状況について点検を行う。 また、循環資源の発生状況等を踏まえ、従来からの経年的データに加え、毎年度設定するテーマに対応した新たなデータを収集・分析すること等を通じて指標のフォローアップを行う。併せて、法第14条に基づく循環型社会白書を作成し、国会へ提出するほか、英語版の作成等を含め、国内外への情報発信を実施する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ④ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		循環資源の発生状況等を踏まえ、循環基本計画における代表指標をフォローアップする	循環基本計画においてフォローアップする代表指標(循環利用率、最終処分量等)の分析等のために検証する補助指標の数	活動実績	項目	117	117	117	117	117
				当初見込み	項目	117	117	117	117	117
↓	成果目標④-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	本予算は、循環基本計画を策定し、新たなデータを収集・分析すること等を通じて各指標のフォローアップを行うための予算であり、計画に定めるそれぞれの施策を直接推進するための予算ではないものの、4つの代表指標の向上を目指すためには、117の補助指標それぞれが向上していく必要があることから、この一例として、循環基本計画にある「循環分野における人材育成、普及啓発等」の項目別取組指標として定めている「廃棄物の減量化や循環利用、グリーン購入の意識」を90%に引き上げることを短期のアウトカムとして示す。								
成果目標及び成果実績 ④-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度	
		廃棄物の減量化や循環利用、グリーン購入の意識を90%に引き上げる	アンケート調査により把握されたグリーン購入に対する意識がある者の割合	成果実績	%	72.8	74.7	70.4	-	
				目標値	%	-	-	-	90	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		第四次循環型社会形成推進基本計画(平成30年6月閣議決定)に定められた目標								
↓	成果目標④-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	国民の意識・関心が高まることで、3R行動が促進され、環境配慮設計が施された商品や環境負荷の低い商品が積極的に購入されることで関連する事業者が増え、引いては循環経済関連市場が拡大するため。								
成果目標及び成果実績 ④-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 12 年度	
		2030年までに、サーキュラーエコノミー関連ビジネスの市場規模を80兆円以上にする	サーキュラーエコノミー関連ビジネスの市場規模	成果実績	兆円	-	53	52.6	-	
				目標値	兆円	-	-	-	80	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		第四次循環型社会形成推進基本計画(平成30年6月閣議決定)に定められた目標								
↓	成果目標④-3の 設定理由 (長期アウトカムへのつながり)	社会全体として資源の再利用・再生使用を促進することにより、資源の循環を促し、循環型社会の実現を目指すため。 循環型社会を形成するためには、どの程度の資源を採取、消費、廃棄しているのかその全体像を把握し、その向上を図っていくことが必要であり、循環型社会の全体像を把握し、その向上を図るための指標と数値目標を設定するとともに、各主体の取組の進展度合いを的確に計測・評価し、更なる取組を促すための指標と、可能な範囲で数値目標を設定する。設定した指標のフォローアップを行い目標の達成状況を把握し、目標・指標を実際に実現するための検討に用いる。								
成果目標及び成果実績 ④-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 7 年度	
		循環基本計画に定められている物質フロー指標を令和7年度までに目標値まで引き下げる。	最終処分量 (※成果実績値:「[年度]→2年前の実績値」、例:「令和4年度→令和2年度実績値」)	成果実績	百万トン	13.1	13	12.8	-	
				目標値	百万トン	-	-	-	13	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		第四次循環型社会形成推進基本計画(平成30年6月閣議決定)に定められた目標								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ④について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ④についてアウトカムが複数設定できない理由								
		-								

活動内容⑤ (アクティビティ)		使用済製品等の適正なリユースに関するモデル事業に加え、令和5年度からは使用済衣類回収のシステム構築に関するモデル事業を実施。									
↓											
活動目標及び活動実績 ⑤ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		先進的事例を創出し、広く情報発信・横展開を図る。	モデル事業採択件数	活動実績	件	-	-	6	-	-	
				当初見込み	件	-	-	5	8.	8.	
↓	成果目標⑤-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	国による適切な支援により、採択したモデル事業を予定通り実施するため									
成果目標及び成果実績 ⑤-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6 年度		
		採択した事業について、計画通りの事業実施を支援する。	モデル事業を予定通り実施できた件数	成果実績	件	-	-	6	-		
				目標値	件	-	-	5	8		
				達成度	%	-	-	120	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		-									
↓	成果目標⑤-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	国の支援を受けて始まった事業が継続していることで、事業支援の妥当性が確認され、横展開を図ることにつながるため。									
成果目標及び成果実績 ⑤-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6 年度		
		モデル事業終了後も事業が継続していること	国が支援したモデル事業がその後も継続している件数	成果実績	件	-	-	6	-		
				目標値	件	-	-	6	8		
				達成度	%	-	-	100	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		-									
↓	成果目標⑤-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	継続的なモデル事業から先進的な事例が創出され、事例に関して広く情報発信が図られ、他地域へ波及することにより市場規模の拡大を目指すため。									
成果目標及び成果実績 ⑤-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度		
		循環経済の実現に向けて、これまでの大量生産・大量消費・大量廃棄から脱却し、循環利用への転換を図る。	リユース市場規模額(国内の消費財における販売額)	成果実績	百億円	242	-	-	-		
				目標値	兆円	-	-	-	-		
				達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		第四次循環基本計画、循環経済工程表、令和3年度リユース市場規模調査報告書									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ⑤について定性的なアウトカムを設定している理由									
		-									
		アクティビティ⑤についてアウトカムが複数設定できない理由									
		-									

アクティビティから長期アウトカムについて6つ以上記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載				チェック	☒	
事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名称	第四次循環型社会形成推進基本計画				
	URL	https://www.env.go.jp/content/900532575.pdf				
	該当箇所	3.1. 循環型社会の全体像に関する指標				
事業所管部局による点検・改善						
点検結果		各事業の執行状況を精査し、入札手法やコスト削減等に取り組むとともに、各事業の進捗状況や成果達成状況等の把握に努め、事業の見直し等を含めた検討を実施した。循環基本計画に定める代表的な4つの物質フロー指標においては、経年的にフォローアップを行い、進捗状況が確認できており、その内容については中央環境審議会における検討に供している。			目標年度における効果測定に関する評価(令和7年度実施)	
改善の方向性		引き続き、中央環境審議会における検討結果を踏まえた仕様書等の見直しや、入札手法の検討等のコスト削減に努めるとともに、第四次循環基本計画に定められた各施策の着実な実施に努める。また、令和7年度の契約からは、官民競争入札を活用する予定である。				
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見						
(選択してください)						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
(選択してください)						
過去に受けた指摘事項と対応状況	公開プロセス・秋の年次公開検証(秋のレビュー)における取りまとめ					
	上記への対応状況					
	その他の指摘事項					
	上記への対応状況					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成23年度	090,091,093,094,138					
平成24年度	090,091,092,093,148					
平成25年度	134,135,136,137,143					
平成26年度	138,139,145					
平成27年度	143,144,151					
平成28年度	139					
平成29年度	151,157					

費目・使途 (「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金額 が支出されている者について 記載する。費目と使途の双方で 実情が分かるように記載)	A.			B.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費・その他	調査等	39	人件費	企画運営統括者・各企画事務局運営人件費等	9
	外注費	アンケート調査	1	印刷製本費	展示物・パンフレット印刷費等	6.5
	消費税		4	雑役務費	追加デザイン費等	3.3
				一般管理費	サイト運営費等	2
				消費税		2.1
	計		44	計		22.9
	C.			D.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	雑役務費	全国大会運営支援業務等	4.6	外注費	モデル事業に関する実施費	17.5
	その他	通信運搬費、会議費、一般管理費、消費税等	3.4	人件費	研究員人件費	14.8
	諸謝金	選考会・審査会・セミナー等委員・講師	0.5	一般管理費・消費税等	一般管理費・消費税等	8.3
	旅費	選考会・審査会・セミ内等委員・講師	0.4	雑役務費	セミナー運営支援	1
	賃借料	審査会等会場借料等	0.3			
	印刷製本費	報告書等	0.2			
	計		9.4	計		41.6
	E.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費		14.8	人件費等		0.9
	雑役務費	一般管理費、消費税等	3			
	素材別調査データ	古着古布の素材別の調査	2.5			
	消費者アンケート調査	消費者アンケート調査(ファッションと環境に関わる意識調査)	1.9			
	グラフィックデザイン・サイト更新費	グラフィックデザインの作成、WEBサイトの更新	1.4			
	その他	交通費、報告書印刷費、情報収集費(記事検索、書籍等)	0.8			
	事業者ヒアリング、アンケート、電話調査	デパレール関連企業のサステナブルな取り組みに関する事業者向け調査	0.7			
	計		25.1	計		0.9
	G.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	請負費	廃棄物・資源循環分野における2050カーボンニュートラル実行計画等検討業務	87			
	消費税等その他					
	計		87	計		
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック

支出先上位10者リスト

A.								
	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	みずほリサーチ&テクノロジー株式会社	9010001027685	令和4年度第四次循環型社会形成推進基本計画に係るフォローアップ及び令和5年版「循環型社会白書」作成支援等業務	44	一般競争契約 (総合評価)	1	84%	-
B								
	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社ジャパンデザイン	8011001111827	令和4年度第四次循環型社会基本計画に基づく循環型社会形成に向けた取組促進等業務	22.9	一般競争契約 (総合評価)	1	92%	-
C								
	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	公益財団法人廃棄物・3R研究財団	9010605002464	令和4年度3R推進企画運営業務	9.4	一般競争契約 (総合評価)	1	96%	
D								
	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社	3010401011971	令和4年度適正なリソースの促進及び違法な不用品回収業者対策に向けた調査・検討業務	41.6	一般競争契約 (総合評価)	1	94.8%	-
E								
	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社矢野経済研究所	3011201005528	循環型ファッションの推進方策に関する調査業務	25.1	一般競争契約 (総合評価)	2	89.7%	-

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A	-	循環型ファッション体験展示企画運営業務	0.9	随意契約(少額)	1	-	

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	パシフィックコンサルタンツ株式会社	8013401001509	令和4年度廃棄物・資源循環分野における2050カーボンニュートラル実行計画等検討業務	87	一般競争契約 (総合評価)	1	98.8%	-
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	